

2011: 東芝 非造影MRA技術を用いた国際的多施設合同臨床研究開始



腎動脈の非造影MRA画像

- 東芝は、米国、フランス、中国、日本の4か国の施設と、非造影MRAと従来の画像診断モダリティの臨床有用性に関する比較検討評価を行う研究活動を行う。期間は約1年。
- 米国デューク大学医療センター客員准教授Timothy Albert, MDが主席研究員として研究を主導し、日本からは東京大学医学系研究科放射線診断学の先生方が参加する。
- 今回は非造影MRAのTime-slip法とDSAやCT、超音波などの従来の画像診断法との症例比較検討を行う。